

◆ 高校受験（受検）方法（種別） ◆

〔その1〕 私立高校の受験方法について

（1）『奨学生・特待生』入試があります

私立高校では独自の条件により、「学力」「スポーツ」「音楽」等での特別な入学制度があり、その成績次第で、「入学金・授業料免除」などの特別な優遇措置（ゆうぐうそち）を受けられる入試制度です。



以下の①、②などがあります。

①「学力奨学生・学力特待生」 ※ 名称は高校により若干異なることがあります。

- ・ 受験資格には条件はありません。（希望者は受験可能です）
- ・ 優遇措置は入試の成績でS・A・B・Cなどのランク（ランクにより受けられる特典が異なります）に分けられます。内容は各学校により異なるため、募集要項等で確認しましょう。
- ・ 合格した場合入学の義務はありませんので、他校の併願受験が可能です。

※併願受験：複数の学校を受験すること

※ ただし、各学校の学業においてトップで活躍できる人材を募集する制度でもあるので、一般受験より合格の難易度が高くなることを覚悟して受験する必要があります。

②「特技特待・スポーツ特待（奨学）生」入試 ※名称は高校により異なります

- ・ 高校の特色によって競技や種目、優遇措置は異なります。
- ・ 受験資格は高校側が定めた独自の基準を満たすことが必要ですので、希望すれば受験できるものではありません。
- ・ 合格した場合、必ず入学する義務があるため、他校の併願受験ができない場合があります。

※ 高校側からの受験要請がなければ受験（合格）困難と言えます。

◇「奨学生・特待生」受験と「その他私立受験」、「公立受検」の併願について
「スポーツ、音楽奨学（特待）生」等での合格者は原則として、その高校へ必ず入学するという条件で受験しますので他校の受験は不可能（ただし、不合格の場合を想定して、後日実施される公立前期選抜への出願（併願）は可能ですが、合格した場合、前期選抜出願取消手続きが必要）
「学力奨学生」の合格者は入学の義務はありませんので、他の国公立私立高校等への出願（併願）及び受験も可能です。

◇「奨学生・特待生」受験をする場合の心構え

- ① 家計の負担をできるだけ軽減し、自分の特性を生かし、3年間本当に一生懸命努力したい。
 - ② 国公立受験に備え、自分の力を試してみたい。（※学力奨学生に限る）
- ※ ただし、②の場合は、不合格のときの心の動揺を覚悟しなければならない。